



坂東地域アグリ通信



平成28年3月20日
 坂東地域農業改良普及センター 発行
 Tel: 0297-34-2134 Fax: 0297-34-3291

平成27年度坂東地域アグリセミナー「土づくり実践講座」 及び閉講式を開催しました

2月29日（月），坂東普及センターでは，第10回坂東地域アグリセミナー「土づくり実践講座」及び平成27年度閉講式を開催し，受講生12名が参加しました。

「土づくり実践講座」では，農業経営士の染野実氏を講師に招き，身をもって知った土づくりの大切さや経営者として必要なことについて，熱のこもった講演をいただきました。



今年度のアグリセミナーでは，「10年後の農業経営者になるために」という年間テーマを掲げてカリキュラムを編成しました。各講座では開講式と閉講式に現在の経営力を診断できる経営力チェックシートの実施や，マインドマップを使った自己分析及び情報交換を行いました。これらを通じて，今後取り組むべき課題が見つめられた受講生もいました。

普及センターでは，これからも坂東地域を担う農業者の育成を継続し，地域農業の発展を支援していきます。



第3回農村女性講座を開催しました

2月26日（金），坂東普及センター主催で第3回農村女性講座を開催し，14名が参加しました。

今回は（有）シャリーの鈴木一男氏から，平成26年から始めた干し芋生産の話をお聞きし，その後，道の駅ごかの見学を行いました。

鈴木氏は坂東地域で唯一干し芋を販売用に生産しています。受講生たちは干し芋加工場の様子を興味深く見学し，「常に一歩先を見て仕事に取り組んでいる」という鈴木氏の話を熱心に聞いていました。

また道の駅ごかの直売所では，販売されている干し芋を手に取り，パッケージやデザインなどを調査していました。

普及センターでは，今後も引き続き坂東地域の担い手女性の支援を行っていきます。



古河市後継者クラブが合同研修を行いました

2月23日（火）、古河市後継者クラブ（あぐり一揆、いばら4H）が合同視察研修を行いました。研修会には、23名が参加し、JAなめがた、なめがたファーマーズヴィレッジを訪問しました。JAなめがたでは、さつまいもの販売戦略と、産地振興における活動体制について説明がありました。その後、さつまいものキュアリング倉庫となめがたファーマーズヴィレッジの施設を見学しました。



クラブ員はJAなめがたの取組みについて、非常に関心を持ち、「出荷時期のピークはいつ頃なのか」「さつまいも栽培の生産者は増えているのか」「貯蔵庫や機械の導入の方法について」など、熱心に質問していました。

今回の研修では、クラブ員間の交流の促進とともに、管外のJAの取組みについて、理解が深まりました。普及センターでは、今後も後継者クラブの活動を支援していきます。

茨城県内において

農業機械の盗難が多発しています!!



○茨城県内で農機具の盗難が多発しており、今年の2月にも鹿行地区において農業機械が盗まれた事例がありました。

○盗難時の農機の保管状況は敷地内駐車・車庫格納・圃場に駐車など様々です。今後も農業機械の盗難には注意が必要です。



対策

- 農業機械にエンジンキーをさしたまま放置しない。
- 田畑、農道等の住居から離れた場所やハウス内に農業機械を放置しない。
- 農業機械を施設の上、施設された倉庫等に保管する。
- 農業機械に警報器、ハンドルロック等の盗難防止用品を装置する。
- 倉庫等に、防犯灯（センサー付きライト）、防犯カメラ等を設置する。

編集後記

今年度も、ご愛読いただきありがとうございました。また、アグリ通信の取材にに応じてくださった皆様、ありがとうございました。坂東地域ではたくさんの若者が農業を頑張っているのと改めて実感しました。来年度も、記事の内容を充実させていきますので、よろしくお願いします。